

自然と人の共生で煌めく白米千枚田活性化事業

概要

平成23年6月に「能登の里山里海」が世界農業遺産に登録され、その象徴である「国指定文化財 名勝 白米の千枚田」で、自然エネルギーを活用したイルミネーションイベントを開催し、能登の里山里海の保全の必要性、環境保護を念頭に置きながら冬期の誘客促進に繋げる。

事業の内容

事業の内容

- 白米千枚田の畦に12,000個のソーラーLED発光器を設置
→約170名のボランティアが参加

総事業費

14百万円

ポイント

- 能登の里山里海が世界農業遺産に認定→「世界農業遺産」の知名度が低く、魅力的な資源を情報発信することにより、輪島全体のイメージアップを図り、誘客促進に繋げる。
- 東日本大震災で再生可能エネルギーが脚光を浴びた。これを活かし、素晴らしさを伝えるイルミネーションイベントを展開。



ソーラーLED発光器
498.8円/個

事業の成果

通常、本市の冬期の観光入り込みは、夏場より大きく落ち込み、さらに東日本大震災で旅行需要が低迷する中、事業実施により観光入り込み数、宿泊数が大きく増加した。

本事業は、地域の振興・活性化に資するものとして、平成24年度は、ソーラーLED発光器を20,000個(予定)に増設し、規模を拡大・継続。環境保全による地域振興施策として更なる成果が期待されている。

観光入り込み数 (開催期間中)	年・月	11月	12月	1月
	平成 22年度	95,000	34,200	20,500
	平成 23年度	104,500	36,900	20,900
	前年比	110%	108%	102%

宿泊者数
(開催期間中)

年・月	11月	12月	1月
平成 22年度	17,600	8,200	6,800
平成 23年度	19,900	9,200	7,000
前年比	113%	112%	103%

石川県輪島市



刈り入れ後の千枚田は景観的に魅力が薄れる時期



ソーラーLED発光器を千枚田の畦に12,000個並べると



魅力的な観光資源に生まれ変わります。